

代 表 者
?

行 政 視 察 報 告 書

平成 30 年 1 月 24 日

各 会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員

沖 田 範 彦

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

平成 30 年 1 月 10 日 (水) , 11 日 (木)

2. 調査項目

千葉県香取市 伊能忠敬翁没後 200 年記念事業の手法について

3. 参加議員

沖田 範彦

千葉県香取市

・調査項目

伊能忠敬翁没後 200 年記念事業の手法について

・調査対応者

香取市議会事務局 次長

斉藤 栄造 氏

香取市議会事務局

渡辺 氏

香取市総務企画部企画政策課

林 亮介 氏

・調査期日

平成30年1月11日 10:00～11:30

・香取市の概要

- ・人口：78,585人 (H29.4.1 現在)
- ・世帯数：30,743世帯
- ・平成18年3月27日 佐原市、小見川町、山田町、栗源町の1市3町が合併して香取市となる。

・調査目的

伊能忠敬は、中学校の歴史教科書に登場し、その功績は50歳を過ぎてから日本全国を測量して歩き、我が国最初の実測日本地図をつくり上げた人物で、その名は広く日本人に知られている。

呉市内においても安浦、川尻町等、各町に宿泊しながら測量活動をしているが、中でも御手洗、阿賀では貴重な古地図が発見されており、非常に縁の深さを感じる場所である。

この度、出身地の香取市では、翁没後200年目に当たり、その偉業を深く称え、後世につなげるための記念事業を挙行される事を知り、「伊能忠敬」を縁とする呉市の観光を促進させることに役立つと思い調査したものである。

・調査内容

【香取市からの説明】

「二百年の時空を超えて」をテーマに、平成29年3月29日に「伊能忠敬翁没後200年記念事業実行委員会」を立ち上げ、その前年の平成28年6月23日に

「伊能忠敬翁銅像建立委員会」を設立し、目標額を 2,400 万円とし募金活動を始め、これまでに約 2,540 万円集められた。

【記念事業として】

- ① 伊能忠敬翁没後 200 年式典 (H30. 5. 20)
伊能忠敬翁銅像完成記念除幕式典
講演及びパネルディスカッション他
- ② 立川志の輔独演会 (H30. 4. 7)
- ③ 伊能忠敬記念館企画特別展 (H29. 9. 26～H30. 6. 24)
- ④ 伊能大図パネル全国派遣事業 (H29. 2. 18～H30. 4. 22)
- ⑤ シーボルトの子孫招いての特別企画 (H30. 4. 24～6. 24)

・質疑応答

呉市には御手洗に宿泊された宿が現存しており、現在民間人が購入し、4月か5月頃には「宿屋」として活用しようとしている。御手洗と阿賀からは絵図が発見されており、交流を深めていきたいものである。

伊能忠敬の末裔に「加瀬英明」という著名な外交評論家がいる。氏は「オノ・ヨーコ」と従弟であると伝えたところ、香取市の方々は「それは知らなかった」と言われていた。

・呉市での展開の可能性

香取市は、成田空港まで 15 km 圏にあり、同空港からは広島空港までの直行便が就航しており、交流を深めやすい環境にあると言える。

「伊能忠敬ゆかりの地」として色々と仕掛けができると思う。